

第234回リレー講演会 (農業)

中山間地農業の課題、ロボットによる作業支援、データを活用した安定経営などのお話です。

- 日時：2021年(令和3年)6月17日(木) 14:00~17:10
- 会場：オンライン開催 お申込みいただいたメールアドレスに Zoom の招待 URL をお送りします
- 主催：東信州次世代産業振興協議会・一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター
- 後援：八十二銀行、上田信用金庫、商工中金長野支店、長野県信用組合、長野銀行(連携協定金融機関5行)

■プログラム

●講演1 14:00~15:00

【講師】 長野大学 環境ツーリズム学部 准教授 相川 陽一 氏

【演題】 中山間地域の農山村をめぐる現状と課題

【概要】 中山間地域の農山村、なかでも山村は、高齢化や少子化といった視点から、社会問題の発生している空間としてみなされることが多くあります。しかし、農村社会学域では、こうした紋切り型の山村観を相対化する知見も示されています。

多くの住民が農に携わりながら、様々な手段で生活を維持する現代の山村では、どのような暮らしが営まれており、どのような政策や施策を講じていくことが望ましいのでしょうか。産業政策のみならず、地域政策の観点から考えていきます。

●講演2 15:00~16:00

【講師】 (株)ラポーザ 代表取締役社長、(株)イーエムアイラボ技術顧問 荒井 克人 氏

【演題】 ネットワーク通信を用いたスマート農業の取り組み事例

【概要】 Wi-Fi や携帯端末などのネットワーク通信により圃場管理(気象データ、有害鳥獣対策など)からロボティクス(草刈り・農薬散布・運搬・パトロールなど)の遠隔操作などを実証実験している長野市の圃場についての事例報告ほかをさせていただきます。

— 休憩 16:00~16:10 —

●講演3 16:10~17:10

【講師】 (有)トプリバー 専務取締役 嶋崎田鶴子氏

【演題】 スマート農業の実践と人材育成

【概要】 令和1年度から2年度にかけて農研機構の実証事業「スマート農業加速化事業」の採択を受けた。「スマートファーマー育成コンソーシアム」の成果報告と今後のスマート農業の実証を行う上での生産者としての課題、これからの日本の農業の維持拡大を行うために必要な課題について。特に AI を使った収穫予測と農業組織としての成長を促すためにトプリバーで行っている人材育成方法の紹介をいたします。

●お申込先・お問合せ AREC・Fii プラザ事務局 TEL/0268-21-4377
 FAX/0268-21-4382 Mail/mousikomi@arecplaza.jp
 申込フォーム <https://forms.gle/pTfBeCVHLToYrNxJA>

第234回リレー講演会(農業分野)(2021年6月17日)参加申込書

| | | | |
|--------|--|--------|--|
| 企業・団体名 | | | |
| 電話番号 | | FAX 番号 | |
| 参加者氏名 | | | |
| 所属・役職 | | | |
| e-mail | | | |